

令和4年度の活動が始まりました

園長 矢澤 隆

新年度となり、新メンバーによる野球部の活動が始まっています。今年は野球経験があまりない初心者の子どもの多いようですが、みな楽しみながら活動しているように感じます。

この文章は、昨年の「みのり」巻頭言の書き出しですが、今年も同じような雰囲気の中で野球部の活動が始まっています。

放課後になると、グラウンドから大きな掛け声が聞こえてきます。今年の主将は桂寮の中学3年生です。しっかりと自覚をもってチームを引っ張ってくれており、一段と成長と頼もしさを感じられます。また、他の子どもたちも大きな声を出しながら、一生懸命練習に励んでいます。

年々初心者の子どもの数が増える中で、先日の紅白戦では、「タッチアップ」や「離塁」のルールを知らない子どもが多数いることがわかりました。実際の試合で子どもたちが戸惑うことのないよう、試合形式の練習を取り入れながら、基本的なルールを身につけられるよう練習を進めています。

今年の試合展開は、おそらく厳しい場面が多数あると思いますが、結果はともかく、一生懸命に取り組む充実感と自分たちの成長を感じ取ってほしいと考えています。また、同時に「礼儀、挨拶、マナー」の大切さを伝えていきますので、部活中だけでなく、ふだんの生活でもこれらの成果を生かしてくれることを期待しています。

ところで、関東児童自立支援施設協議会では、水泳大会や卓球大会など、今年度のすべての行事を開催する予定でいます（もちろん感染状況に十分配慮しながらですが…）。また、県文化体育協会においても同様の方向性であると聞いています。

より多くの行事を子どもたちに経験させてあげたいのと同じく、職員にもより多くの行事を経験してもらいたいと考えています。児童自立支援施設では、なぜこうした行事が盛んなのか、日々の練習や大会等への参加を通じて子どもたちに何を学んでほしいのか、毎年異動により職員が入れ替わる中で、職員一人ひとりがきちんと趣旨を理解していないと子どもたちには伝わっていきません。リアルな大会は、子どもだけでなく職員も育ててくれるのです。

現時点では、各大会を有観客とするのか否か判断できていませんが、機会があれば子どもたちの頑張りを見ていただきたいと考えています。また、来所面接等の際に、練習の様子を見て励ましのお言葉をいただくと助かります。

最後に、今年2月にクラスターが発生した際には、保護者及び関係者の皆様にご心配とご迷惑をおかけしました。引き続き感染防止に努めるとともに、児童が充実した学園生活を過ごせるよう支援を行ってまいります。



～生沢分校通信～

■ 国府小学校生沢分校 山口 友紀子 校長

4月の入学式では「予測ができない変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して自らの可能性を発揮してほしい」という思いを込め、私がいつも大切にしている南アフリカ共和国の大統領ネルソン・マンデラ（1918年～2013年）の言葉を紹介しました。

The greatest glory in living lies not in never falling, but in rising every time we fall.（生きる上で最も偉大な栄光は、決して転ばないことにあるのではない。転ぶたびに起き上がり続けることにある。）

日本にも「七転び八起き」という「ことわざ」があります。予測不能の時代だからこそ大事にしたい先人たちの知恵です。今年度も連携・協力を大切に、どうぞよろしく願いいたします。

■ 国府中学校生沢分校 野口 裕美 校長

令和4年度がスタートしました。生沢分校では、花がきれいに手入れされていて、廊下には授業で作った素晴らしい作品が飾られていて、子どもたちと先生がいつもあいさつをしてくれます。

チャンスが来たらチャレンジする、チャレンジしたら何かが変わる。道はひとつということではなく、百も千も万もある・・・誰の人生にも成長が約束されています。また「人への優しさ」「ありがとうという言葉」には、人生をプラスに導くエネルギーがあります。支えてくれる人たちへの感謝の気持ちを大切に、日々を過ごせることを願っています。

そしてこれからも、生沢分校教職員一同、保護者や地域、関係諸機関等と連携しながら、子どもたちの成長を見守り、支援してまいります。

どうぞよろしく願いいたします。

～着任の先生方の挨拶～

■ 中学部 吉田 秀人先生

平塚市立春日野中学校より参りました。教務を担当致します。教務の仕事は初めてなので、右往左往していますが、多くの方々と協力しながら、子どもたちの成長を願って、がんばりたいです。どうぞよろしく願い致します。

■ 中学部 内田 淳実 先生

小田原市立城南中学校より参りました。国語科を担当致します。国語科の授業や読書活動を通して、生活に結びついた言葉の使い方、言葉との付き合い方を生徒の皆さんと一緒に学びたいと思います。どうぞよろしく願い致します。

■ 特別支援教育 原田 康弘 先生

昨年度まで本校の校長でありましたが、縁があって再び分校の教育の場に立つことができました。子どもたちとの関わりを大切にしながら、少しでも力になれるようにしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

■ 小学部 迫田 卓士 先生

平塚市立大野小学校より参りました。小学部を担当致します。小学生及び中学生のみなさんと共に、勉強や生活などを学んでいきたいと思いません。どうぞよろしく願い致します。

■ 中学部 小森 啓太 先生

二宮町立二宮西中学校より参りました。保健体育を担当します。みんなで楽しく運動や健康のことを学んでいきたいと考えています。「やってみる」(チャレンジ)を大切に頑張っていきましょう。「みんな～、やれば、できる。」

■ 養護教諭 室伏 江利子先生

大磯町立大磯中学校から参りました。分校での生活はわからないことだらけですが、少しずつ勉強しながら頑張っていきたいと思しますので、よろしく願いいたします。

■ 事務職員 勝 洋平さん

今年度より事務を担当することになりました。子どもたちの分校生活を支えていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

お世話になった先生方、ありがとうございました

- 秋山 実 小学校長 定年退職
- 成田 麻紀 先生 大磯町立国府小学校へ
- 鈴木 琢朗 先生 中井町立中井中学校へ
- 石田 圭子 先生 退職
- 廣崎 あづま 事務員 退職

- 原田 康弘 中学校長 定年退職
- 田中 宣裕 先生 平塚市立岡崎小学校へ
- 近藤 麻亜久 先生 二宮町立二宮西中学校へ
- 伊藤 照子 先生 大磯町立大磯中学校へ

～おおいそ学園

新任職員の挨拶～

■自立支援課長 荒木 宏治

おおいそ学園での勤務は初めてですが、児童相談所で働いていた頃におおいそ学園に担当の子をお願いしたことがあり立場は変わりますが、基本は子どもたちの安全・安心のために大人がどう接していくかが問われると思いますので、意識しながら関わりたいと思います。

■自立支援課 桂寮副寮長 風間 悟

こども自立生活支援センターから異動してきました風間です。おおいそ学園は初めてですが、持っていたイメージと違って、時代とともに変わってきていることを実感しています。皆さんから学ばせて頂きながら、今までの経験をうまく生かして子ども達がより成長できるよう仕事していきたいと思っています。よろしくお願いします。

■自立支援課 桂寮 松崎 めぐみ

おおいそ学園は、3度目の勤務、12年目となります。社会人として、多くの時間をおおいそ学園で過ごさせてもらっていること、今まで出会えた子どもたちや職員の方々に、たくさんのことを教えていただいていること等々、感謝の毎日です。

これからも、子どもたちと一緒に過ごせる時間、日々の生活を大切に、一人ひとりの子どもたちの心に届く、子どもたちが幸せな人生を歩んでいくための力を育める支援を目指していきたいと思っています。よろしくお願いします。

■自立支援課 竹寮 米澤 真人

はじめまして。この度、子ども自立生活支援センターより異動して来ました。私は、学生時代にサッカーやバスケットボール、テニスなど、多くのスポーツに触れてきました。今までの経験を活かし、自然がいっぱいのおおいそ学園の生活の中で、職員の皆さんと一緒に、子どもたちの成長をサポートしていきながら、学園生活が充実したものになるよう、関わっていきたくと思っています。これからよろしくお願いします。

■自立支援課 竹寮 古宮 大祐

はじめまして。この度、中井やまゆり園から異動してきました。中井やまゆり園では、5年間支援員としてお世話になりました。また、前職では高齢の施設で介護の仕事に就いていました。今回のおおいそ学園が初めての児童との関わりになります。何もわからない状態ですが、みなさんとの学園生活が充実したものになるよう関わっていきたくと思っています。

■自立支援課 竹寮 松尾 俊彦

竹寮に配属となりました。松尾俊彦です。前職は知的障害者支援を中心に従事していました。通所、入所施設など様々なセクションで勤務をしていました。今回、児童施設での勤務は初めてとなり、分からないことが多く、「日々是勉強」の毎日です。趣味はジョギング（年に数回ハーフ&フル市民マラソン大会に参加）、スノーボード（アルペン&フリーの二刀流）、スポーツ観戦（ラグビー&野球は特に好き）などです。向上心・向学心を忘れずに気持ちも新たに“オールドルーキー”頑張ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

■自立支援課 梅寮 玉置 凌

中井やまゆり園から異動してきました、玉置凌です。おおいそ学園に初めての配属となりました。おおいそ学園の自然の豊かさに感動しました。これからの生活で子ども達と運動をしたり、畑作業をしたり様々なことにチャレンジしていきたいと思っています。また、子ども達の自立にむけて精一杯支えていきたいと考えています。おおいそ学園でたくさんのおおいそ学園の生活を子ども達と経験し、一緒に成長していきたいです。何卒、宜しくお願い致します。



各寮レポート～寮長だより～

桂寮 二馬寮長

今年度の桂寮は、小6～1名、中1～2名、中2～1名、中3～4名の8名の個性的な面々でスタートしました。皆で気持ち良く生活できるようウイングごとに皆で話し合い、月の目標を決め、助け合いながら生活しています。

とはいうものの集団生活の中では、時には、もめたり、ケンカもあります。そんな時は大人も関わりながら、お互いに気持ちを伝え合い、相手の意図や気持ちを理解した上で和解します。トラブルを繰り返しながら、それを基にそれぞれが成長してゆくことを期待しています。

竹寮 田代寮長

竹寮の花壇にチューリップの花が咲き、色とりどりの花が竹寮の今年度のスタートを祝ってくれているかのようです。今年度は、小学6年生1名、中学1年生の児童が2名、2年生の児童が1名、3年生の児童が2名の計6名です。子ども達がそれぞれの課題を解決できるように支援していきたいと思ひます。それと共に、子ども達には、おおいそ学園の生活の中で、色々なことにチャレンジしてもらい、やればできるという自信を沢山身につけてもらいたいと思ひます。

梅寮 石原寮長

今年度の梅寮は中学2生2名、中学3年生1名、高等部生4名でスタートしました。

高等部生のうち2名は園外に仕事に出ています。その2名も4月中に退所となりました。職員側も寮長をはじめ3名の職員が入れ替わりしました。新しい環境に、児童も職員も戸惑いながらも歩みを進めています。それぞれの目標に向けて走り続ける児童の背中を、時には見守り、時には押していきながら子どもの成長を応援していきます。

異動された職員の方々

■自立支援課 課長 山下 真弘
中央児童相談所へ

■桂寮 副寮長 篠崎 和雄
中井やまゆり園へ

■竹寮 田所 裕太郎
子ども自立生活支援センターへ
野地 洋平
中井やまゆり園へ

■梅寮 寮長 岡野 努
厚木児童相談所へ
副寮長 堀野 兼
小田原児童相談所へ
大原 哲裕
子ども自立生活支援センターへ



編集後記

新年度になり、子どもも大人も顔ぶれが変わる中、野球部の活動が始まりました。感染症対策を万全に行い、活動いたしますので、今後ともご協力よろしくお願い致します。
広報委員会